

乳癌(進行・再発)

1st Line

## Pertuzumab+trastuzumab+VNR療法 (導入)

( )コース目

患者ID : @PATIENTID

患者氏名 : @PATIENTNAME

身長(cm)	体重(kg)	体表面積(m <sup>2</sup> )
\$HEIGHT01_Doc	\$WEIGHT01_Doc	#VALUE!

投与スケジュール : 1コース21日

使用基準 : class C

使用薬剤 : ペルツズマブ : ペルツズマブ (1V : 420 mg)

トラスツズマブ : トラスツズマブ (1V : 150mg, 60mg)

ビノレルビン (VNR) : ビノレルビン静注液 (10mg/1mL、40mg/4mL)

※ 投与前～投与中の心機能異常に要注意

※ Infusion Reaction に要注意

投与中又は投与開始後24時間以内に多く現れるInfusion reactionのうちアナフィラキシー様症状、肺障害等の重篤な副作用（気管支痙攣、重度の血圧低下、急性呼吸促迫症候群等）の発現の報告あり。Infusion reactionが高頻度で発現する点滴開始後2時間以内は特に要注意。

投与量 :

薬剤	標準投与量	計算値(mg)	投与量(mg)	投与日
ペルツズマブ	840 mg/body	840		1
トラスツズマブ	8 mg/kg	#VALUE!		1
ビノレルビン	25 mg/m <sup>2</sup>	#VALUE!		1.8

&lt;&lt; タイムスケジュール : 開始時刻 &gt;&gt;

※記載している時刻は例です。当日の投与予定時刻ではありませんのでご注意ください。

day1 1月1日 (金)

- 0時00分 ① 生理食塩液 50mL  
血管確保用で速度適宜にて点滴静注
- 0時15分 ② 生理食塩液 250mL + ペルツズマブ mg  
60分で点滴静注 0.00 ml
- 1時15分 ③ 生理食塩液 100mL (フラッシュ)  
60分で点滴静注 (経過観察を十分におこなう)
- 2時15分 ④ 生理食塩液 250mL + トラスツズマブ mg  
90分で点滴静注 0.00 ml
- 3時45分 ⑤ 生理食塩液 100mL (フラッシュ)  
30分で点滴静注 (経過観察を十分におこなう)
- 4時15分 ⑥ 生理食塩液 50mL + ビノレルビン mg  
全開10分以内で点滴静注 0.0mL  
終了後直ちに生食250mLを開始。 **凶血管炎、静脈炎に注意**
- 5時30分 ⑦ 生理食塩液 250mL (ビノレルビン終了後直ちに)  
全開20分で点滴静注

day 8 1月8日 (金)

- 0時15分 ① 生理食塩液 50mL  
15分で点滴静注
- 0時30分 ② 生理食塩液 50mL + ビノレルビン mg  
全開10分以内で点滴静注 0.0mL  
終了後直ちに生食250mLを開始。 **凶血管炎、静脈炎に注意**
- 0時40分 ③ 生理食塩液 250mL (ビノレルビン終了後直ちに)  
全開20分で点滴静注

## REFERENCE

Edith A. Perez, Jose Manuel Lopez-Vega, Thierry Potit, et al Breast Cancer Research (2016) 18:126  
Safety and efficacy of vinorelbine in combination with pertuzumab and trastuzumab for first-line treatment of patients with HER2-positive locally advanced or metastatic breast cancer:VELVET Cohort 1 final results  
2017年2月度化学療法プロトコル審査委員会承認 : 2017年2月13日